

地元企業、参入の糸口探る 関連技術セミナー



盛岡 東北ILC 準備室(室長

・鈴木厚人(県立大学長)と
いわて加速器関連産業研究
会(会長・藤代博之(岩手大
教授)は31日、盛岡市盛岡
駅西通のマリオスで国際リ



ILCの関連技術について
説明する山本康史准教授

ニアコライター(ILC) 関連技術についてのセミナーを開いた。地元企業関係者が機器の洗浄技術などを学び、参入の糸口を探った。

企業関係者や大学の研究者など約90人が参加。茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構(KEK)の山本康史准教授と梅森健成准教授が講演し

た。

山本准教授は超電導空洞に高周波を送り込むカップラーについて「工程が多岐にわたるため製造が難しい」と話し、ごみを取り除く洗浄やセラミックのろう付け、内面の銅メッキ加工など、優れた関連技術の必要性を訴えた。

同セミナーは本県企業の加速器関連産業への参入につなげようと昨年度から開催し、今回は本年度5回目。